



# たけとよ

# 議会だより

NO.

# 170



2020年2月1日発行

愛知県武豊町議会  
令和元年12月定例会



役場1階 住民窓口課前に記念撮影スポットを設置



### 目次

ページ

ページ

- 特集 ..... 2
- 住民対話集会 ..... 4
- 一般質問〈会派代表〉 ..... 7
- 一般質問〈個人質問〉 ..... 11
- 常任委員会視察報告 ..... 15
- 町内企業視察報告・編集後記 ..... 16

### 12月議会のあらまし

期間	12/2 (月) ~ 12/19 (木)	
内容	報告案件	2件
	補正予算関係議案	6件
	条例関係案件	12件
	一般質問	12人

## 交差点にガードパイプ設置予定



### 道路新設改良事業費 528万円

町内5カ所（北山構造改善センター南東・富貴小学校南信号交差点より南のY字・武豊町役場西・緑丘小学校南西・衣浦小学校南の白山）の交差点に安全対策としてガードパイプを設置する。

## 緑丘小児童クラブ建設予定



### 児童クラブ施設整備工事 設計委託料 1,098万円

緑丘小学校に児童クラブを令和2年度に建設予定です。  
(建設補助：国2/3・県1/6・町1/6)

## 武豊中央公園整備工事

429万円

変更前 1億4,479万円 → 変更後 1億4,908万円

本年度の大型台風などによる雨水被害の状況を考慮し、近隣住宅への土砂や雨水の流出被害の防止対策として側溝を設置する。

## 中学校維持管理費

57万円

富貴中学校の特別支援学級の生徒が増えることにより教室を増設するための工事です。

## 集落排水建設事業費

1,503万円

浄化センターの処理層内にある微生物を付着させるための接触材を撤去処分します。



**Q** 工事の内容は。  
**A** 特別支援学級の人数が2人増えることから、今、使用している教室の間仕切りをするために、アコーデイオンカーテン、LED照明、ホワイトボードを設置する工事。

### 富貴中学校教室の営繕工事

**Q** 設計委託料の詳細は。  
**A** 定員を80人増やすための建築面積は約270㎡で、児童スペースが2部屋、その他に静養室、事務室、トイレなどを予定している。

令和2年度に建設する  
緑丘小学校児童クラブ

12月議会において全議員の賛成により決議  
**交通死亡事故の根絶についての決議**

一瞬にして尊い命を奪い、多くの人の暮らしを脅かす交通死亡事故をなくし、安全に安心して暮らすことは、武豊町民すべての切なる願いである。しかしながら、本町では今年7月、1751日続いた連続死亡事故0の記録が途絶え、9月にも交通死亡事故が発生している。

また、愛知県においては、経済社会情勢や交通情勢の変化に対応した様々な交通安全対策を懸命に実施してきたことにより、昨年の交通事故死者数が1950年以来、68年ぶりに200人を下回ったものの、依然として全国ワースト1位の不名誉な記録が続いており、極めて憂慮すべき事態となっている。

交通死亡事故をなくすためには、町民一人ひとりの交通安全意識の向上を図ることはもとより、子どもが犠牲になる事故や高齢運転者による事故が相次いでいることを踏まえ、実効性のある子ども達の安全確保対策や高齢者の安全運転を支える対策をさらに推進することが必要である。

よって、本町議会は、改めて交通安全意識の徹底を喚起するとともに、町を始め、関係機関ならびに関係団体等と緊密な連携を図り、町民と一丸となって交通死亡事故の根絶に取り組むことを決意する。以上決議する。

主な採決結果

○：賛成 ×：反対 -：欠席 議長は採決に加わりません。

令和元年第4回定例会		1 久野 勇	2 櫻井 雅美	3 鳥居 美和	4 甲斐百合子	5 野田 佳延	6 梶田 進	7 青木 宏和	8 青木 信哉	9 南 賢治	10 石川 義治	11 森田 義弘	12 大岩 保	13 福本 貴久	14 本村 強	15 鈴木 一也	16 石原 壽朗	採決結果
令和元年度補正予算	一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	可決
	国民健康保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	介護保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	農業集落排水事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	下水道事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
町長、副町長の給与に関する条例の一部改正		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務専念義務の特例に関する条例の一部改正		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
下水道事業の設置等に関する条例の制定		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
水道事業の設置等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
国の私学助成の拡充に関する意見書		×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	否決	
愛知県の私学助成の拡充に関する意見書		×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	否決	

# 令和元年度 武豊町議会住民対話集会

武豊町議会では、毎年「開かれた議会」を目指して、住民対話集会を行っています。昨年に引き続き、区に出向いて開催いたしました。

今回は、「ごみ処理の現状と今後について」、「コミュニティバス『ゆめころん』について」、「地域防災について」のテーマを3つに絞って説明し、その後、参加者の方からご意見やご要望をお聞きしました。いただいたご意見・ご要望は区ごとにまとめ、各担当課へ提出しました。

住民対話集会でいただいた主なご意見・ご要望と、アンケート結果を報告します。詳細についてはホームページにて公開しています。

\*「武豊町議会トップページ」

← 「議会基本条例」を検索

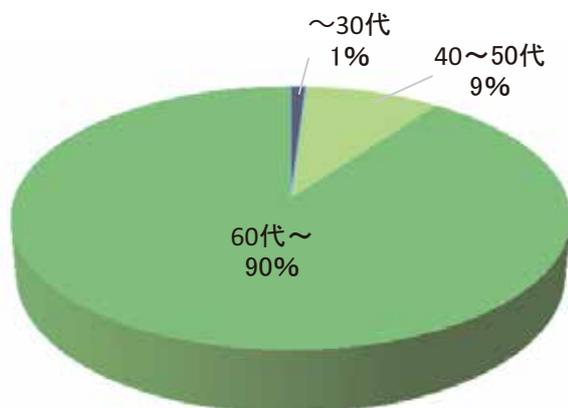


QRコード

## 開催日と参加者数

区名	玉貫西1区	大足区	馬場区
開催日	11月16日	11月24日	11月30日
参加者数	25名	33名	18名

参加者の年齢



参加者の性別



大足区



玉貫西1区

## 参加者からの 主なご意見・ご要望

ごみ処理の現状と今後について  
ごみの分別の項目をさらに  
増やすのか。

今後、ごみ袋の有料化を考  
えているのか。

集積所に紙おむつが捨てて  
ある。保育園では保護者に  
持ち帰るように説明してい  
ないのか。

エコステーションに持つ  
て行けない高齢者のために  
回収してほしい。

草・剪定枝の無料回収など、  
もっと住民に周知してほし  
い。

## コミュニティバス

●逆回りを検討してほしい。  
●施設までの距離や停留所間  
の距離など、停留所の位置  
を検討してほしい。

●乗りたい方もみえるので停  
留所では徐行して周りを見  
てほしい。

●志町田にワゴン車のような  
小型のバスを走らせてほし  
い。

●コミュニティバスの運転手  
の適確性はどのように判断  
しているのか。

## 地域防災について

●避難所の1階に障がい者用  
のトイレを設置してほしい。  
●避難所の収容人数はどう  
なっているのか。

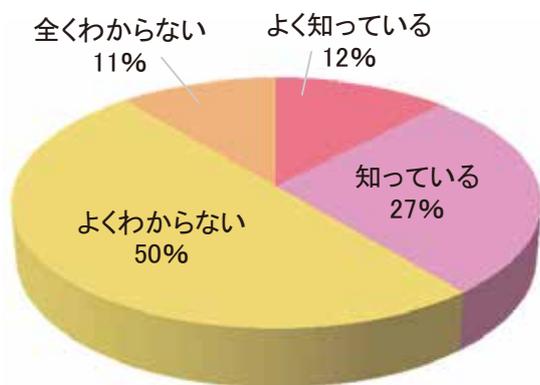
●災害時に自衛隊の派遣はあ  
るのか。また、給水はある  
のか。

## アンケートのご意見

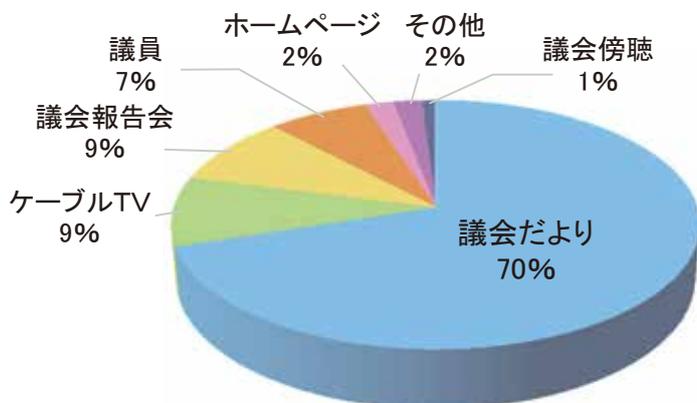
●人数が少ない割りに活発な  
意見が多い。良かった。  
●住民の意見を反映し、どの  
ように実施したか、みえる  
化を。

●子育て世代の参加がほとん  
どありません。これからの  
まちづくりに取り組んでい  
ただく世代への啓発をお願  
いします。

議員の活動内容



議会の情報の入手先



令和元年度は、玉貫西1区、大足区、馬場区において、住民対話集会を開催いたしました。それぞれの区の独自の課題を知ることができ、また、ご意見・ご要望を聞くことができました。今回いただいたものは全議員で情報を共有し、今後の議員活動に生かしていきます。

また、アンケートの中に、「住民の意見を、どのように実施したかを見る化してほしい」とのご意見をいただきました。どのように見える化できるか検討してまいりたいと思います。



馬場区

# 一般質問 町政を問う

12議員が  
質問

一般質問とは、議員が町の行財政全般に対し、質問して確かめることです。会派の代表が質問する「会派代表質問」と、個々の議員が質問する「個人質問」があり、質問時間は答弁を含め50分以内です。

ページ	質問者	質問事項	担当部
会派代表	7 政和クラブ 森田 義弘	• 半田消防署武豊支署の移転について	総
	8 きずな 鈴木 一也	• 豪雨災害について	総 建
	9 公明党議員団 鳥居 美和	• 食品ロス削減の取組みについて	福 経 教
	10 日本共産党議員団 梶田 進	• 幼児教育無償化について	福
個人質問	11 上 南 賢治	• 都市計画道路の東西線について	建
	下 甲 斐 百合子	• ごみ減量施策について	経
	12 上 石 原 壽朗	• 歩行者の安全確保について	総 建
	下 石 川 義治	• SDGs (持続可能な開発目標)について 他に「地方分権改革・提案募集方式について」質問	総 企
	13 上 久 野 勇	• 防災対策について	総 経 建
	下 本 村 強	• 豊かな町づくりのために、税外収入の確保について	総 企
	14 上 櫻 井 雅美	• 今後の子育て支援について 他に「ふるさと寄附について」質問	総 福 教
下 青 木 信哉	• 通学路の安全対策について • 小中学校の教育環境 (ICT化)整備について	福 教	

総 総務部 企 企画部 福 健康福祉部 経 生活経済部 建 建設部 教 教育部



政和クラブ  
森田 義弘 議員

# 半田消防署武豊支署の移転について

## 町の消防防災の拠点に

**Q** 建設場所と面積はどのくらいになるのか。

**A** 町長 武豊港線南側のおおよそ7,000㎡の中で、支署や付帯設備などの施設を検討の上で適切な規模を決定していく。

**Q** どのような施設となるのか。

**A** 町長 詳細については、今後検討をしていくが、効率的に住民サービスを提供するため、職員数に応じたスペースの確保・展示や資器材の収納スペースを有した多目的室を設ける必要がある。また、災害時の円滑な活動が行えるよう日頃から訓練を行っているため、十分な広さの訓練スペースや訓練塔を整備する。今後、現場の皆さんのご意見を伺いながら、町の消防・防災の拠点となるにふさわしい施設とすべく知多中部広域事務組合消防本部と調整していく。

**Q** 近隣へのサイレン音などの対策は、どのように考えているのか。

**A** 総 植栽などの干渉帯を設けるレイアウトを検討するとともに、設備面などで出勤時のサイレンはフェードイン機能や、住宅モードの使用、屋外に設置される指令音スピーカーの向きを工夫するなど対応を考えている。

また、夜間など車庫内での作業音が外にできるだけ漏れないよう排煙設備を導入し、シャッターを閉めた状態で作業ができるような策なども協議していく。

**Q** ヘリポートの設置は検討されるのか。

**A** 総 緊急時には大変有効な施設と認識しており、整備条件などを勘案の上、知多中部広域事務組合消防本部と調整を図っていく。

## 幅広い活用を検討

**Q** 支署機能以外で検討している具体的な事案はあるのか。

**A** 総 消防本部との協議が必要となるが、講習や研修のできる大会議室や展示スペース、防災面での体験コーナーとして、例えば火災時の煙を体験できる場所などを考えている。

**Q** 消防行事を広くなる新しい支署の敷地で開催する考えはあるのか。



▲ 管内で新しい半田消防署 東浦西部出張所

**A** 総 出初め式や観閲式、並びに消防操法大会などの開催は、難しいと思われる。しかしながら、自主防災会の訓練など、地域の防災力の向上のための活用など幅広く検討をしていきたい。



きすな 鈴木 一也 議員

# 豪雨災害への対策について

地球温暖化などの影響で、巨大台風や、局地的大雨など、未曾有の被害が各地で発生しています。被害を少しでも抑えるため、本町の取り組みは。

## 平成12年の東海豪雨を経験して

**Q** 東海豪雨後の整備状況は

**A** 町長 本町における東海豪雨の状況は、総降雨量413.5mm、時間最大雨量65.5mmとなり、床上・床下浸水および、道路冠水などの被害があった。

これを受け、平成13年度から現地調査に着手し、平成17年度から平成26年度を目標に「武豊町雨水排水計画書」を策定し、10年に一度程度降る大雨に対応できるよう整備を推進。

現在、東海豪雨時に浸水した地域の施設整備は完了している。

また、平成27年度から令和6年度を目標に、「老朽化した既設排水施設の改築等による機能向上と

長寿命化対策」を加え、上ヶ第1ポンプ場の耐震化および長寿命化事業を、平成29年度に整備を終えた。

これらのように、東海豪雨と同規模の、10年に一度程度の大雨に対応できる対策を進めてきている。

## ハザードマップ作成時の想定雨量は

**Q** 水害ハザードマップの内容は

**A** 総 現在、作成中の「水害ハザードマップ」は、豪雨による河川からの氾濫と、排水能力の限界による浸水状況を想定し、どの程度の降雨量でどのような被害におよぶのかをシミュレーションするものである。県管理の3河川は愛知県がシミュレーションし、その他の町管理の河川については、県のデータなどと整合性を図りながら作成していく。

また、想定降雨量は、1000年に一度程度を意識し設定していく。

**Q** 水害に対する避難訓練は

**A** 総 水害に対する避難方法は、避難所などへ避難する水平避難と、より高い場所へ避難する垂直避難がある。避難所への避難は、地震・津波を想定した町内一斉防災訓練においても実施しており、台風などの風水害時にもつながらる。

## 避難情報の表現が分かりにくい

**Q** 避難の周知とタ

イミングは

**A** 総 周知方法は、現在行っている、同報無線、防災ラジオ、ホームページ、防災メール、ツイッターなどと、令和2年度からは、ラインとショートメールも加える。



▲ 長寿命化の整備を終えた上ヶ第1ポンプ場

また、災害対策本部にて気象情報を注視しつつ早めの避難を呼びかけ、情報を発信する際には、分かりやすく、正確に伝えられるよう努める。



公明党議員団  
鳥居 美和 議員

# 食品ロス削減の取り組みについて

「食品ロス」とは、まだ食べられる食材が、生産・製造・販売・消費の段階で廃棄されることを言う。

**Q** 本町における食品ロスの発生状況は。

**A** 経 平成30年度の家庭における食品ロスは、年間約618tと推測される。

**Q** 食品ロスの削減に対し、どのような取り組みをしているか。

**A** 経 残飯の発生を抑える「エコッキング」の普及啓発、広報たけとよの「武豊エコだより」では、環境課からのお知らせや、ごみ減量の啓発を行っている。

宴会の席で乾杯後30分間とお開き前10分間は、自分の席で料理を



楽しむ「3010運動」や、生ごみを減らす3つの合言葉、「使いきり・食べきり・水きり」を呼びかけるなど、食品ロス削減の取り組みをPRしている。

**Q** 広く住民の皆さんに取組みを知っていただくには、より目にとまりやすい場所でのPRが大事なことだと思います。今後、公共施設や地区の公民館に啓発物を置くなど、より積極的な啓発を行う考えはあるか。

**A** 経 住民の皆さん一人ひとりが、食品ロスに向き合う機会をつくるには、啓発に努めることが大事だという認識でいる。今後、啓発物の設置場所などを検討し、より多くの住民の方に啓発できるよう取り組んでいきたいと考えている。

**Q** 食品ロスにつながる教育は、されているか。

**A** 教 無理なく残さず食べることの重要性、食に対する感謝の気持ち、身体に必要な栄養素など、

食に関わる教育を行っている。

**Q** 保育園では、絵本などを利用して食品ロスの意義を伝えることはしているか。

**A** 福 体の仕組みをテーマにした絵本や野菜の栽培に関する絵本の読み聞かせを行っている。絵本の読み聞かせを通じて、自然の恵みとしての食材や食の循環を学び、食べ物を無駄にしない気持ちが育つようにしている。

**Q** 食品ロスの問題について本町の考えは。

**A** 町長 令和4年の知多南部広域環境センター稼働に向け、燃えごみの減量に取り組んでおり、食品ロス削減は、ごみ減量化対策の重要な課題の一つとして認識している。今後は、国の基本方針および愛知県の削減推進計画の策定状況を見据え、本町における食品ロス削減推進計画の策定に取り組み、食品ロスの削減に努めたいと考えている。



「食品ロス」イコール「もったいない」が住民の皆さんに広く浸透することで、食品ロス、いわゆる食べられるのに捨てられてしまう食品ロスが減るのではなく、減らす行動をしていく必要が、今、求められている。住民の皆さま一人ひとりが家庭でできることもある。「食材は食べられる分だけ買う。残さず食べる。こまめに冷蔵庫を整理する。残った食材は別の料理に活用する。」これらは、本町が推進する可燃ごみの排出量削減にも寄与する。



日本共産党議員団  
梶田 進 議員

## 幼児教育無償化の拡大を

10月1日より、幼児教育の無償化が始まりました。幼児教育の無償化は当然のことではありますが、安倍政権が消費税率10%増税時に実施を前倒しにしたことは「増税分を国民に還元する売り物」として利用したことにあります。

### 幼児教育の主な内容は

**Q** 武豊町における幼児教育無償化の主な内容はどのようになっていますか。

**A** 町長 保育料が無償化になっているのは、保育園、認定こども園を利用している3歳から5歳までの子どもと、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもなどです。

給食の副食材料費は無償化の対象とならないので、10月から、主食費と合わせて負担していただいています。

私的契約児については、無償化の対象から外れていますが、町内

に公立幼稚園がなく、私的契約児も保育園を利用していますので、町独自の施策として、保育園の使用料を無償としています。



### 2歳児以下の無償化を求める

**Q** 2歳児以下の保育園児の相当数が有償とされます。2歳児以下の入園資格はどのようになっていますか。

**A** 福 保育に欠ける要件の児童となっています。

**Q** 2歳児以下の子どもを入園させて働いている方は、子どもが大きくなって働かれる可能性が高い人と考えられます。いま、保育

料を無償化しても、働いていれば、収入に対する住民税が相当期間入ってくる形になります。そのことを考えて差し引きすれば、町にとってプラスになることから、2歳児以下も無償化してもいいのではないですか。

**A** 福 いろいろな意見がありますが、国の制度に則って行っていますので、今の扱いでいきたいと考えています。

### 無償化の基準はどこか

**Q** 副食費が無償化から外れ、有償になったことから、保護者から「無料と聞いていたが、何でお金があるの」という素朴な声が届いています。

**A** 入所案内でも、給食費について主食代650円、副食代4500円と書かれています。この中で年収360万円未満相当との表現があり、この表現をどうとらえるかによって、同じ年収でも無償にな

るのか有償になるのかはっきりしません。

その境界は標準家庭の場合、どのくらいの年収になりますか。

**A** 福 国の示されている数字の360万円相当は4A階層以下が360万円未満相当になると思われます。

**Q** 町の無償化の対象が4A階層ということは住民税が4万8600円から5万7700円と相当の幅があります。どのようになりますか。

**A** 福 住民税5万7700円未満が無償の対象となります。



▲ 中山保育園



南 賢治 議員

## 都市計画道路の東西線について

都市計画道路における東西線の路線計画に対する進捗状況をみますと、なかなか計画通りには整備が進まない現状がある。

交通渋滞の解消および安全で利便性の高い道路整備による交通の円滑化を図り、都市機能の向上を図ることで、住民の皆さんの住環境のより一層の向上と安全の確保のための整備について質問する。

**Q** 古場武豊線の上ゲ踏切交差点ですが、道路高架ではなく名鉄線路上を上げ駅から知多武豊駅までの間を高架化するとしたら、どのような基準があるか。

**A** 建 一連続立体交差化に関する要綱」が定められている。

**Q** 仮に、その基準をクリアして上げ駅から知多武豊駅までの約1kmの高架を考えたとするなら、どのようなリスクが考えられるか。

**A** 建 工事中の仮線用地確保の必要や住環境面において、日照問題・電波障害などが考えられる。

また、併せて事業費や事業期間についても、膨大な費用と長い年月が必要になると考える。

**Q** 武豊港線ですが、みゆき通り東、丁字交差点から里中交差点へ抜ける町道金下・里中第1号線の一方通行解除を伴う整備については。

**A** 建 「味の蔵たけとよ」や建設予定である温水プールを結ぶ重要な路線である。丁字交差点の改良に合わせ、堀川に架かる橋梁の検討など、関係機関と協議・調整を行い、事業が円滑に進むよう、鋭意努力していく。



▲朝夕の混雑が厳しい上げ踏切



甲斐百合子 議員

## 今後のごみ減量施策を問う!

「知多南部広域環境センター」供用開始までに、平成26年度時と比べて、1000tのごみ減量が必要。現在460t減量。あと2年3カ月。

**Q** 今後のごみ減量化スケジュールは、どうなっていますか。

**A** 経 一次目標である今年度は、町民アンケートの結果も踏まえて、中間評価を実施。おおむね計画どおりに進捗しているものの、地域差、可燃ごみの減量、紙類の資源化など、個別の課題が残されている。今後は、「ごみ減量化検討会議」の中で、様々な意見をつかがい、本年度中に具体的な実施計画を、策定していく。

**Q** そもそも、なぜ1000tの減量が必要ですか。

**A** 経 国の基準によるごみ処理場の規模に合わせ、各構成市町の協議により決定し、各市町がごみ減量に取り組んでいる。

**Q** 生ごみの分別や、「キエーロ」

実施のお考えは。

**A** 経 「燃やさなければならぬごみ」の4分の1が生ごみであり、有効な施策だが、収集など課題も多い。今後の調査研究にしたい。「キエーロ」は、土の中のバクテリアを利用して生ごみを分解する生ごみ減容器を本町として実施可能かどうか、検討していきたい。

**Q** 積極的に取り組む区や個人が励める施策を検討する必要があるのでは。

**A** 経 今後、本町としてできることがあれば、実施に向けて前向きに検討していく。



▲「キエーロ」利用の様子



石原 寿朗 議員

## 歩行者のさらなる安全確保を

**交通事故を無くすため、町には道路整備のさらなる改善を求める**

**Q** 事故後の検証や犯罪抑止のためにも、通学路などに防犯カメラの設置を推進する必要があるのではないかと。

**A** 町長 現在、公共施設や駅周辺の駐輪場を対象に、順次整備を進めている。来年度以降は、関係部署と連携して、小中学生が多く往来する場所や車両通行量の多い交差点を中心に、適切な場所を検討して防犯カメラの設置を進めていく。

**Q** 防犯灯の設置・維持管理を地元区へ委託しているが、通勤、通学でその場所を歩く当該区民以外から「暗い」という声もある。必要と思われる箇所の新設や照度改善は、町が積極的に関与すべきでは。



▲ 安全を見守る防犯カメラ

**A** 総 町民から出される「道路が暗い」などの情報は、防災交通課も窓口となり、当該地元区などと調整して改善を図っていく。

**Q** 国や県のガイドラインでは、横断歩道は通常の歩道や路側帯よりも明るい照度が望ましい、としているが、本町では対応できていない箇所が多いのではないかと。

**A** 総 町内には200を超える横断歩道があり、樹木の繁茂、周辺の影響のほか、設置されている照明機器の照度自体が低い箇所もある。機器交換の際などを利用して、横断歩道の十分な照度確保を行っている。



石川 義治 議員

## 「誰ひとり取り残さない」理念

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2030年までの国際目標であり、17のゴールと169のターゲットが掲げられています。

### 地方創生の実現のために

**Q** 武豊町では、SDGsにどのような見解をもっているのか。

**A** 企 町で行われている施策の多くは、SDGsの掲げる17のゴールに繋がっていると考えている。

**Q** 現在、SDGsの理念を意識して進めている施策は。

**A** 企 SDGsの理念と方向性が同じ施策は多くあると考えている。

**Q** 職員に、SDGsの認知度を上げていくことへの見解は。

**A** 企 更なる知識の向上に努める必要があると考えている。

**Q** 「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」加入への見解は。

**A** 参加も視野に入れていく。

**Q** 愛知県がSDGs未来都市に選定されたことによる影響は。

**A** 企 県の施策がSDGsに関連付けられ、職員の更なる理解が必要になってくると考えている。

**Q** 町としてのSDGsの推進・取り組みについての見解は。

**A** 町長 町の施策をSDGsのゴールと関連付け、施策体系を構築していく。

具体的に、次期総合計画では、SDGsのゴールを総合計画の基本計画に掲げる施策に関連付けをし、そのアイコンを掲げることによって、各種の個別計画との連携を図ることを検討している。





久野 勇 議員

## 防災(豪雨)対策について

**台風やゲリラ豪雨・記録的短時間豪雨に対する本町の対策は**

**Q** 雨水排水計画の策定と進捗は。

**A** 建 平成12年9月に発生した東海豪雨による被害を受け、同規模の大雨に対応できるよう、雨水排水計画を策定・改定作業を行い平成27年度から10年計画で施設整備を実施中。

**Q** 計画は、どれ位の雨量に対応できるものとするのか。

**A** 建 東海豪雨の時間最大降雨量は65・5mmであった。計画では10年に一度降る大雨の時間降雨量68・6mmに対応した施設能力を目標としている。

**Q** 本町における雨水調整池・ため池の整備は。

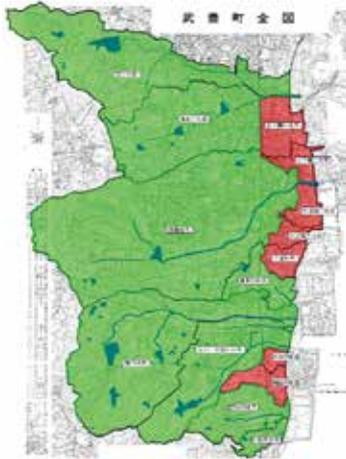
**A** 建 可能なところから雨水貯留施設の整備を行っている。また、ため池を活用し「鹿狩池」「六貫山新池」には、雨水調整能力を持たせた構造としている。今後は、石田川上流に調整池、既存の中山

新池の雨水調整能力の強化を計画。  
**Q** 災害ごみについてはどのような計画か。

**A** 町長 災害の種類により廃棄物の発生量を推測し、仮置き場の面積や分別基準を定め、迅速に処理できるよう計画している。現在は、運動公園を仮置き場に想定している。

**Q** 計画以上の廃棄物が発生した場合はどうなるか。

**A** 経 災害時は想定外の事態も考え、複数の災害廃棄物置場の候補地を選定する必要があるため、公有地や必要に応じ民有地も考えている。



▲ 排水体系図



本村 強 議員

## 新しい施設に、ネーミングライツを前向きに検討

屋内温水プール建設、知多武豊駅東整備、中央公園用地購入など大型プロジェクトの推進のためには、多大な費用がかかる。住んでよかったと言っていただけの街をつくるには、少しでも税収を増やし、税収以外の確保策を探ることは喫緊の課題である。

**ネーミングライツ(公共施設の命名権)の導入を**

**Q** 本町におけるネーミングライツ導入の考えは。

**A** 町長 ネーミングライツは、公共施設の所有権、運営方法はそのままにして、企業名や商品名を付した「愛称」を命名する権利を企業に与えて、契約金を町の財源として確保する広告事業の一つである。本町においては、現在、整備を進めている「屋内温水プール」、「武豊中央公園」など新たな施設について前向きな検討をし、企業への働きかけをしていく。

**Q** 知多市、大府市が平成30年度から導入しているが、その実績は。

**A** 企 知多市は「市民体育館」や「運動公園陸上競技場」など、大府市では「市民体育館」、「勤労文化会館」や「歩道橋」などにも契約をしている。「メディアス体育館ちた」、「メディアス体育館おぶ」と命名され、複数年契約で年間100万円とされている。

**Q** 町内の既存の公共施設で、池の上の図書館やエコステーション、町民会館、体育館、運動公園など素晴らしい施設についても検討を。

**A** 町長 企業としてのPR価値がどうかなど課題もあるが、選択肢の一つである。



▲ 池の上に建つ図書館



櫻井 雅美 議員

## 子育て世代包括支援センターに 多様な専門職を！

### 子育て世代包括支援センター について

- Q** 基本型・母子保健型それぞれ新規に配置される職員の経歴は。
- A** 福 基本型に保育士、母子保健型に保健師を予定している。
- Q** 現在、不在であり、専門職として必要な助産師・児童福祉士の配置はしないのか。
- A** 福 専門職が必要だとは認識しているが、積極的には探していない。今後考えていきたい。
- Q** 2022年までに子ども家庭総合支援拠点事業をスタートすると思いますが、専門職確保は。
- A** 福 人材確保に努めたい。
- Q** 現場で使命感をもって働いている職員が疲弊し、休職に追い込まれることがないよう、多様な専門的観点から危機的判断や見立てができるような組織マネジメントが必要だがどう考えているか。
- A** 福 職員が大変なことは承知している。今後考えていきたい。

### 放課後の子どもの安全な居場所

- Q** この時期になると、早く暗くなり、遠くから通っている児童が一人で帰るのは危険が伴います。特に緑丘小エリアには児童館もなく、大人の目があり、安心して過ごせる場所がありませんが対応は。
- A** 福 総合計画の地区別懇談会でもお話がありました。地域の方の協力をいただき、公民館などを利用することも検討していきたい。



青木 信哉 議員

## 通学路の安全対策の進捗状況は

通学路において6月の緊急点検の結果どのような対策を行うのか

- Q** 危険箇所の対策は。
- A** 町長 建 対策が必要な19カ所のうち、町道交差点5カ所は防護柵を設置の予定である。(一部境界ブロック撤去後)
- Q** 国の補助制度の利用は。
- A** 建 11月中旬に、園児などの移動経路における交通安全確保に対する交付金制度への申請を対象となる3カ所について行った。

- Q** 他の交差点についての対策は。
- A** 副町長 国道・県道の11カ所については県へ要望をあげている。場合によっては町が承認工事という形で進めていく。
- Q** 保育園における対策は。



▲ 白山信号交差点

- A** 建 対策済みのラバーポール設置以外に道路外側線の引き直しやガードパイプの設置をしていく。
- Q** キッズ・ゾーン設定の考えは。
- A** 福 「厚生労働省交通安全業務計画」の改訂を見据えて設定については調査研究を進めていく。

### 教育環境のICT化整備

- Q** 法律によりICT推進計画を策定する事(努力義務)とされたが、武豊町の考えは。
- A** 教 財政的な面も見据えた中で子どもたちにとって最大限の効果が得られる方法を検討していく。
- A** 町長 11月の東京出張時、文部科学省の方より国際的にICT化が遅れている中、国はまずは5年生を対象にICT化を進め、その後5年間をかけて全小中学生と学校への整備を進めていく考えを聞いた。本町もしっかりと対応をしていく。



## 総務企画委員会

# 「新消防庁舎建築」「消防車両の配置」調査・研究!

11月6日

大阪府泉大津市消防本部

武豊消防支署の旧野菜茶業研究所跡地への移転計画を踏まえ、平成30年4月に新築移転された泉大津市消防本部を視察しました。

新庁舎建築に当たって配慮した点については、

● 早朝・夜間のエンジン点検時に、車庫のシャッターを閉められるよう排煙設備を設けた。

● 出動時のサイレンは、音が徐々に大きくなるフェードイン機能や、住宅モードなどの騒音対策をしている。

● 車両出口に人通りが多く、出動時の事故を避けるため出動スペースを広くとっている。

● 住民内覧会・庁舎開放デーなど、親しみやすい消防署を目指している。  
● 将来入所するであろう女性職員用の仮眠室・浴室の整備をした。

周辺住民への配慮がされており、使い勝手など大変参考になりました。

11月7日

大阪府岸和田市消防本部

現在、本町にある大型はしご車両の更新を控えコンパクトで機動性の高いMV F13を導入している岸和田市を視察しました。

MV F13の配備理由と経緯について、

● 1台でポンプ車とはしご車の2役を担うことができる。

● アウトリガーの張出がないため省スペースで作業ができる。

● はしごがマイナス角に伸縮し、水難救助など活動幅が広い。

● オーバーホールがなく、コストが安い。  
本町に車両の導入をする際の参考になりました。



▲ 機動性の高いMV F13



## 文教厚生委員会

# 「子育て世代包括支援センター」「就労継続支援B型事業」を研究!

10月30日

大阪府寝屋川市

「子育てリフレッシュ館リラット」

本町が来年度開始する「子育て世代包括支援センター事業」について施設の見学を含め、建設から運営までの経緯と現状の課題について説明を受けました。

妊娠期にタブレットによる問診から、即日の支援プランの交付。住所地の担当保健師、近くの子育て支援施設、母子保健事業などの情報提供を行っています。

助産師が配置されたことにより、産後ケア事業や産前産後サポート事業へ速やかにつなぐことが可能となっております。

10月31日  
滋賀県甲賀市

「やまなみ工房」

生活介護と就労継続支援B型事業の中で、障がい者が芸術を通して仕事を獲得し、生きがいを持って生活をしている施設でした。

本町においても先日「た

が芸術祭」が開催され、すばらしい作品がたくさんあり、可能性を感じました。

三重県いなべ市

「健康子ども部 発達支援課」

「チャイルドサポートシステム」について説明を受けました。

早期発見・早期支援、重点支援、支援の引き継ぎを3つの柱とし、途切れない支援を目指しています。

未然防止の発想で人件費にしっかりと予算が割かれていること、関係各課が隣接し、日常的に顔を合わせることによって即対応できているとのことでした。

今後の事業へのヒントをたくさんいただきました。



▲ 三重県いなべ市視察風景



# 武豊町議会 東海カーボン(株) 知多工場

本町発展のために貢献している町内企業の事業内容を、町議会として知っておく必要があると考え、企業視察を行いました。

11月21日に武豊町五号地内にある東海カーボン(株)知多工場を視察しました。東海カーボン(株)は1918年創業の100年を超える歴史ある会社で、黒鉛電極・カーボンブラック・ファイナカーボン・工業炉などの製造により、さまざまな産業分野で利用されるカーボン材料事業をグローバルに展開しています。

特に1941年、日本で初めてカーボンブラックの製造を開始しました。また近年ではリチウムイオン電池の負極材や水性カーボンブラックの開発により新たな分野にも進出してい



▲ 東海カーボン視察研修

ます。知多工場は1962年から操業しており、工場と研究所も併設しています。現在、従業員数は82名で3班体制で、ゴム補強材としてほとんどの黒色ゴム製品に使用されているカーボンブラックを主に製造しています。また平成30年には新たにインクジェットプリンターの黒色インクに使用されるアクアブラックの製造工場も新設され発展を続けています。

## ●町民の議会に関するご意見

皆さまからの議会に関するさまざまなご意見を募集しています。

応募は、手紙・電話・メールで。

〒470-2392 武豊町字長尾山2番地  
TEL:(0569)72-1111 (内線208)  
E-mail:gikai@town.taketoyo.lg.jp

※応募に当たっては、必ず、住所、氏名、連絡先(電話・メールアドレス)を記入してください。  
掲載時は、ご希望によりイニシャル表示とします。また、写真・ご意見とも掲載時に編集することがあります。

## 編集後記

昨年は、平成天皇の退位により、元号が「令和」へと変わりました。私たちは、今までに経験したことのない貴重な改元に立ち会うことができました。

武豊町においては、町制施行65周年記念の行事や催しも無事に終了し、令和の時代も元気の武豊町として頑張れるように、私たち議員も取り組んでまいります。

議会だよりは、議会の様子や町の状況を、速やかに正確に皆さまにお伝えする使命を帯びているものと思います。読みやすく、わかりやすい紙面の編集に努めてまいります。

(本村 強)

## 来て! 聞いて! 議会傍聴

本会議場で行われる議会は、どなたでも傍聴することができます。また、各委員会は、委員長の許可が必要となります。

### 次回定例会日程(予定)

2月 24日(月)	14時	請願・陳情提出期限
3月 2日(月)	9時	開会
4日(水)	9時	一般質問
5日(木)	9時	一般質問
12日(木)	9時	議案質疑
13日(金)	9時	総務企画委員会
16日(月)	9時	建設経済委員会
17日(火)	9時	文教厚生委員会
23日(月)	14時	採決

一般質問の放送予定  
ケーブルテレビ(CCNC)  
3月14日(土)・28日(土)  
午前9時から

地方自治体広報誌アプリ



【マチイロ】

「議会だより たけとよ」が掲載されています。

